平成 19 年（2007 年）の羊蹄山の火山活動

札 幌 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○　2007 年の活動概況

・火口や噴気の状況（図１～３）

５月 22 日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。

噴気は認められず、これまでの観測と比べて、火口の地形等の状況にも変化はありませんでした。赤外熱映像装置[1)]による観測でも地熱域は認められませんでした。

1)赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

○　2007 年の噴火予報及び噴火警報の発表状況

発表日時	噴火警報または噴火予報	活動状況及び予報警報事項
12 月 1 日 10 時 20 分	噴火予報（平常）	火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られない。

注）平成 19 年 12 月 1 日より噴火警報及び噴火予報の発表を開始し、それに伴い従来の緊急火山情報、臨時火山情報及び火山観測情報は廃止しました。羊蹄山では、2007 年に火山情報の発表はありませんでした。

この資料は札幌管区気象台のホームページ(http://www.sapporo-jma.go.jp)や気象庁のホームページ(http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html)でも閲覧することができます。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50000（地図画像）』を複製しています。（承認番号　平 17 総複、第 650 号）

図１　羊蹄山　南西側上空から撮影した全景
（2007 年５月 22 日、図２　①方向から撮影）

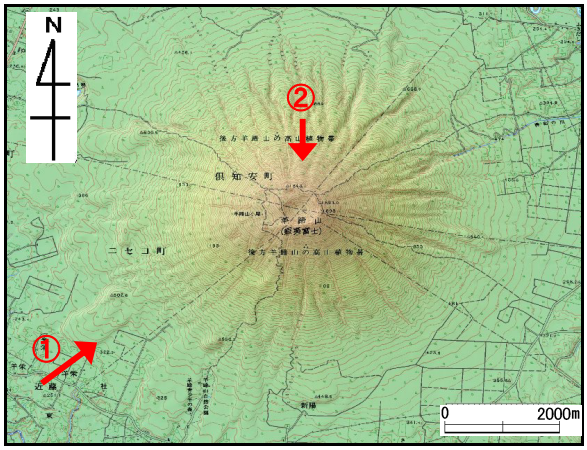

図２　羊蹄山　周辺図

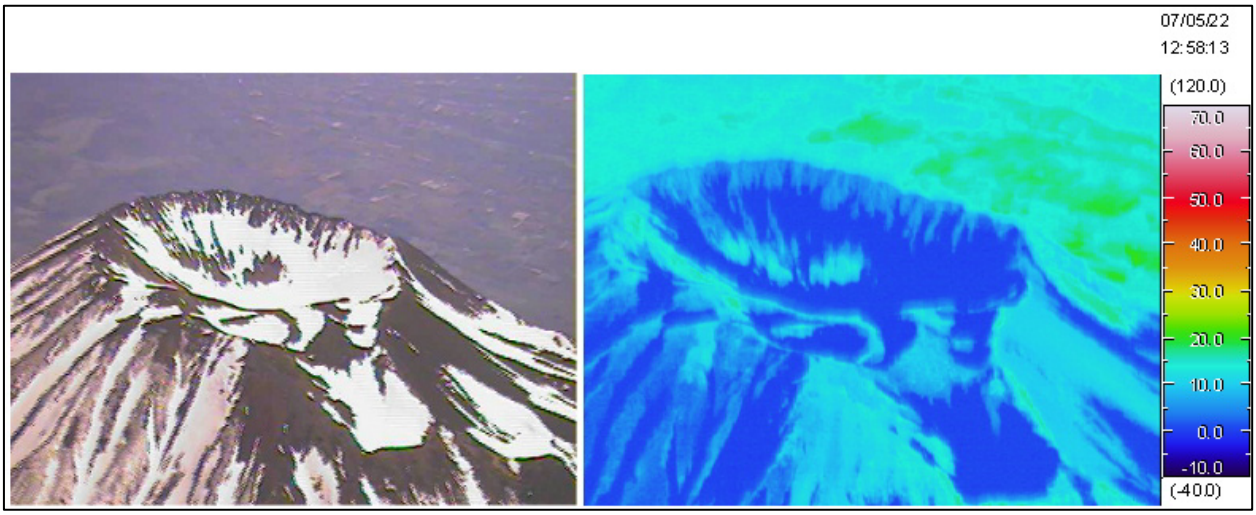

図３　羊蹄山　赤外熱映像装置[1)]による羊蹄山山頂部の地表面温度分布
（2007 年５月 22 日、図２　②方向から撮影）